

□第 24 回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

日 時： 平成 25 年 7 月 31 日（水） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

場 所： 旧大津公会堂 3 階ホール

参加者： 委 員 宮崎、大道、川端、安孫子、尼田、山本、村田、秋村、石川、白井、
田中、坂野、磯田、福井、柴山、山口、勝部、渡辺（代理 設楽）、
寺田、松崎、八森、戸田、

オブザーバー 田端（代理 川村）、松本（代理 三橋）、山本、田邊

事務局 元田、伏木

大津市 山口、高見、北田、田山

商工会議所 徳永

（傍聴者） 1 名

（順不同・敬称略）

1. 開会（まちづくり大津・事務局）

2. はじめに

- （1）大津市中心市街地活性化協議会全体会議委員の紹介 ……資料 1
- （2）中心市街地活性化協議会とは 【(独) 中小企業基盤整備機構近畿本部】 ……資料 2
- （3）第 2 期大津市中心市街地活性化基本計画について 【大津市】 ……資料 3
- （4）大津市中心市街地活性化協議会の推進体制について【(株)まちづくり大津】 ……資料 4

3. 議題

- （1）役員の選任について
- （2）平成 25 年度大津市中心市街地活性化協議会の取り組みについて
 - ① 事業計画（案）及び予算（案）について
 - ② プロジェクト会議の提案募集について
- （3）今後のスケジュールについて

議題（1）役員の選任について

事務局より規約第 7 条に基づき、会長 1 名・副会長 2 名・監事 2 名を選任し、会長は委員の中から互選により選任することになっているが、どの様にしたらいいかとの問いに対し、委員より、会長として中央学区自治連合会会長 安孫子邦夫氏の推薦があり、また、他の委員からも同様の推薦、及び異議なしの声が上がり、全員の拍手により選任された。

規約第 10 条に基づいて安孫子会長が議長となり、以下の議事を進行する。

次に、副会長 2 名と監事 2 名の選任について、規約により会長が指名し、委員の同意を得ることになっている。安孫子会長より事務局提案を求められ、事務局より副会長 2 名について、大津市商工会議所会頭 大道良夫氏、大津市商店街連盟理事長 石川順三氏、監事 2 名について、大津市都市計画部長 川端二郎氏、京阪電気鉄道大津鉄道部長 尼田賢光氏を提案した。

安孫子会長より、事務局提案に対し委員に同意を求めたところ、全員の拍手により事務局提案通り選任された。

議題(2) 平成25年度大津市中心市街地活性化協議会の取り組みについて

- ① 予算書の説明（協議会運営経費、情報発信費、PJ会議運営経費）事務局：元田

・・・資料6

- ② 各PJの説明

・・・資料7

- ・エリア・アート（元田）
- ・町家利活用（白井）
- ・まち遺産魅力発信（柴山）
- ・まちなかガイド（福井）

Q: エリア・アートPJについて、成安造形大学とのコラボは考えていないのか？

A: 今回は協力団体との位置付けであるが、これからは積極的に考えていきたい。

Q: 町家利活用PJについて、第1期では6件成立しているがその後はどうなっているのか？

A: 第1期では、町家情報館の中で3回程度の町家見学会の開催があり、その中で借り手と貸し手との合意が成立した。第2期では、もっと具体的、積極的に第1期では出来なかったことを推し進める。

- ③ 全体説明 事務局：元田

4つのPJ会議以外にも提案を受け、PJ会議を立上げ事業化に向けた検討等を進めていく。その中で事業計画、予算を運営会議で決定し活動を進めていく。

提案用紙に記入し事務局まで提出して下さい。（締切8月31日）

・・・資料8

安孫子議長より「平成25年度大津市中心市街地協議会の取り組みについて」承認の確認があり、全員の賛成により承認された。

- ④ 今年度の事業計画の承認を受け、その運営の中核となる運営会議の委員長について、規約第13条第2項において、また、プロジェクト会議のリーダーについて資料5-2プロジェクト会議規程において、それぞれ会長が指名することになっており、安孫子会長より運営会議の委員長にまちづくり大津取締役の山本進一氏、プロジェクト会議のリーダー「湖岸エリア・アートPJ会議」は中井委員、「大津町家利活用PJ会議」は白井委員、「大津まち遺産魅力発信PJ会議」は柴山委員、「まちなかガイドPJ会議」は福井委員にそれぞれリーダーに指名した。

議題(3) 今後のスケジュールについて

事務局：元田

・・・資料9

4. 次回の開催日程は、特に緊急の課題がなければ、来年の3月末に今年度の事業報告と来年度の事業計画（案）を合わせて審議する予定。

5. 閉会